

組合員とJA、そして地域を結ぶ広報誌

No.607

# くみあいだより

KUMIAI DAYORI



©三ヶちゃん



特集

選果の徹底、  
連年結果の取り組みを  
令和2年産年内の販売経過と年明けの見通し

2021

1



HP



LINE

三ヶ日町農業協同組合

新年ごあいさつ

地域の皆さんとともに、これからも



三ヶ日町農業協同組合  
代表理事組合長

井口 義朗

組合員・地域の皆さん  
新年明けましておめでとう  
ございます。  
令和3年が皆さんにとりまして  
幸多く素晴らしい一年に  
なりますようご祈念申し上げます。

## ミカンでコロナ禍に向かう

### 新型コロナの令和2年

2019年12月、中国・武漢において原因不明の肺炎患者が発生したとの発表があり、明けて2020年1月にWHOは新種のコロナウイルスであることを発表しました。以降ダイヤモンドプリンセス号での感染など国内での感染も確認され、4月には緊急事態宣言の発令、移動自粛に伴い休校や高校野球の中止、そしてオリンピック東京大会の延期など前例のない事態となってしまいました。また、旅行業や飲食業においては大きな打撃となり、過去に例を見ない厳しい状況となりました。

リーマンショックのような事態は何となくトンネルの出口が見えるような気がしますが、今回の新型コロナウイルスは目に見えず、さらに感染するという厄介な代物で、当初より第2波、第3波が来ることは予測されていましたが、まさに予測通りの展開で、流行語大賞は「三密」、令和2年の漢字は「密」が選ばれるなど、年間を通して新型コロナウイルスに振り回された年でした。

### 災害の中のミカンの価値

そのような中、当三ヶ日町の主力であるミカンについては令和元年産も新型コロナウイルスの本格的対応前に概ねの販売は終了し、大きな影響もなく切り抜けたと思いますし、令和2年産販売についても、厳しい経済情勢の中、台風などによる自然災害も少なく、収穫期の天候も安定していたことから品質も良好で、販売価格も安定しており、今後新型コロナウイルスによる移動自粛制限も考えると巣ごもり需要も期待されるところです。

2011年3月11日東日本大震災の際、災害支援としてミカンを被災地に送ったときに感じたことですが、道具を使わない果物としてミカン・イチゴ・バナナがあり、イチゴとバナナはしっかりと鮮度を保ち供給できたという話を聞きました。また避難所ではストレス過剰による中、まさに今回農協で取得した機能性成分「GABA」は精神の鎮静にも役立つとのことで「ミカンは災害時に強い」と痛感しました。



機能性を表示した三ヶ日みかん

いよいよ主力の「青島温州」の販売が本格化します。表年で生産量もしっかりとありますので、コロナ禍の中ではありますがあ今後の展開に期待をしたいと思います。



建設中の新柑橘選果場

## 令和3年の新選果場稼働に向けて

令和3年は、いよいよ新選果場が稼働します。昨年の8月以降、日に日に柱が立ち外壁が貼られて行く光景を見た方も多いと思います。建物はほぼ完成し、1月より内部のプラント工事に取り掛かっていきます。今回導入の目玉であるAI（人工知能）選果機については今までのデータ蓄積に加え、令和2年産ミカンでもさまざま角度から学習させており、傷み、擦れ、浮皮などの検知精度はかなり進化してきています。家庭選果の軽減や選果場従業員の削減などについては現実のものとなってきてています。課題は生産量の維持・拡大につきます。

新選果場にはエレベーターや見学者専用通路もバリアフリーで設置しました。組合員の皆さんや地域の皆さんにもぜひ見学していただき、日本一の選果場を体験していただきたいと思います。

現選果場につきましては、何が起こるかわかりませんので令和3年新選果場が軌道に乗るまでは現状維持とし、その後の利用については地域の皆さんのお役に立てるよう検討しておりますのでご了承ください。

目先ではなく、「遠きをはかる」  
新型コロナにばかり目が行ってしまっているのが現実ですが、「宮尊徳は「遠きをはかる者は富み、近くをはかる者は貧す」という言葉を残しました。目先の利益だけで物事を判断すると「その場しのぎ」になってしまふという格言です。



新選果場内。高い位置に見学者コースを設置中



若手職員がSDGsに取り組む

三ヶ日町農協もSDGs（持続可能な開発目標）に取り組んでいますが、「持続可能性」とは「資源が長期的に持続可能な利用条件を満たすこと」で、「長期的」とは「ある時期までの間隔が大きい」と解釈されます。

「遠き」も「長期的」も具体性に欠けますが、現時点では「自分の子や孫の時代」と訳せば受け止めやすいと思います。

# 農を基軸に持続的な 地域づくりを

農を基軸にこれからも持続的に

三ヶ日町農協は「食と農を基軸に地域に根ざした協同組合」で、「夢と希望に満ちた緑豊かな地域づくりを目指します」を経営理念としています。

農を基軸に子や孫の代まで持続していくために、組合員・地域の皆さんとともに役職員一丸となって邁進してまいりたいと存じますので、本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

代表理事組合長 井口 義朗  
代表理事専務 森下 常則  
理事金融共済部長 宮崎 邦敏  
代表監事 和田 幸芳  
常勤監事 片山 雅光  
役職員一同



昭和期に造成中のミカン園。現在は次世代に引き継がれ、農業の基盤となっている

早生ミカンは11月6日、青島ミカンは12月15日に販売がスタート。試食などのPRができない中、産地・ブランドへの信頼が力がぎです。

年明けからは三ヶ日産の青島が中心となる



## 選果の徹底、連年結果の取り組みを

### 令和2年産年内の販売経過と年明けの見通し

J.A.静岡経済連 販売情報センター 山本 哲司

全国的に表年の予想。開花は平年並みからやや早く、一次・二次落果は多くなりました。果実肥大は順調に推移しましたが、夏場の高温干ばつにより肥大は抑制されました。

#### 着色遅れと荷動きの鈍化

早生の全国生産予想量は、前年比102%（※1）でした。7月の降雨、8月の猛暑による日焼け果の発生、10月の気温高の影響から極早生の数量は少なく、早生も着色遅れ等により入荷が遅れました。主産県の出荷も11月上旬に始まりましたが、着色遅れから量は少なく、中旬から本格化しました。産地間でバラツキはありますが、総体として糖は高く、酸切れの良い食味の良い果実が出荷されました。

#### 販売の経過

#### 令和2年産温州ミカンの作柄



品質を確保するための目ざろい。販売先から「安心して扱える」という価値に繋がっている



令和2年に作った芽に令和3年の春に花が付く。  
連年生産には来年再来年を見越した栽培管理が必要

11月下旬からはギフト需要でM品を中心に行き合いましたが、入荷量の増加、高値疲れに加え大玉果の比率が高まり、柑橘類全般的な荷動きが鈍り、流通在庫が増えました。全国的な出荷遅れから、12月に入つても荷動きは改善されず、在庫を抱えた販売が続きました。

#### 信頼に支えられたマルエムの販売

マルエムの早生は、当初計画10,000トンのところ厳選出荷に努め8,692トンの実績でした（※2）。糖酸のバランスが良く、イタミ果の発生もないため市場・仲卸からの評価は高く、コロナ禍で試食宣伝ができる中、安心して販売できる産地としてさらなる評価を得ました。

マルエムのブランドは、お客さまの「信頼」に支えられ、築かれてきました。安心・安全はもちろん、安定品質で安心して扱える魅力的な商品として引き合いは強く、安定した販売となりました。

本県産青島のスタートは12月15日からで、マルエムは15日から28日で約5,000トンの販売を計画しました。

販売環境は近年になく悪く、大田市場の在庫は12月中旬より2,000トンを超える日が見られ、厳しい単価で始まりました。販売環境の悪化防止、価格維持を図り、1月に余分な在庫を残さないために、出荷調整に取り組みました。

#### 今後の販売見通し

#### 最後に

お客様からのお客さまからのさらなる信頼を勝ち取ります。

来年、再来年を見据えた連年安定生産が大切です。高品質果実の安定生産・出荷へ繋がる栽培管理をお願いいたします。

今後も寒い日が続きますが、体調管理には十分注意していただき、最大限の取り組みをお願いいたします。

生産者の皆さまにご理解・ご協力を願いますとともに、マルエム三ヶ日みかんのさらなる発展を御祈願申し上げます。

GABAの機能性取得を知事へ報告

12/22

県AOI機構、各組織と連携し



三ヶ日みかんでGABAの機能性表示を報告する井口組合長

川勝知事は「科学技術で農芸品に健康という新しい価値を証明できたのが素晴らしい」と関係者を称えました。井口義朗組合長は「周知が課題。ミカンの機能性も食習慣の蓄積によって發揮されるものなので、若年層にぜひ食べてもらいたい」と伝えました。

「GABA」の表示のきっかけは2017年、AOI機構に入居する慶應義塾大学SFC研究所による三ヶ日みかんの成分分析です。この分析により高含有で機能性に有望な成分の一つとして「GABA」が見つかりました。その後、三ヶ日町農協は各組織と連携し、三ヶ日みかんのGABAの含有量の調査と、血圧低下に関する研究レビューを調べ、消費者庁に届け出ました。

川勝知事は「科学技術で農芸品に健康という新しい価値を証明できたのが素晴らしい」と関係者を称えました。井口義朗組合長は「周知が課題。ミカンの機能性も食習慣の蓄積によって發揮されるものなので、若年層にぜひ食べてもらいたい」と伝えました。

MIKKABI  
JAみっかび  
NEWS  
農協と地域のニュースを紹介



## 人工知能の育成順調



人工知能がミカンを識別する様子がモニターに映し出された

二 一 ケ日町農協は静岡県や市、有識者でつくる「静岡県スマートみかんコンソーシアム」のメンバーと浜松市東区のシブヤ精機株式会社を訪問し、2021年に完成する新しい柑橘選果場に搭載する、AI（人工知能）の開発状況を確認しました。

AI導入の狙いは、生産者の負担軽減と、選果データのフィードバックによる品質向上と生産量の確保選果場の省力化です。そのため、従来は人の目が頼りだった「生傷」などの識別、従来の外観センサーでは難しかった「病害名」を特定する能力を目指しています。

同社は2018年度と2019年度は約5000個のミカンのサンプルを使い、AIのモデルを作成。2020年度は同JAの選果場のラインにAI外観センサーを設置して膨大な画像を取得して育成中。11月30日時点のシミュレーションでは、製品と規格外の判定で9割超、「生傷」や「病害名」など7つに分類する判定でも9割近くの精度に達していると報告しました。

デモではこのAIを搭載した同社の試験機

でミカンを選別。従来は人間がチェックしている

た「生傷」などが識別されるのを確認すると、普段選果場で評価に当たる農協職員から「すごい」との声が上がりました。

AIは人間の脳の信号処理をモデルにした「ディープラーニング」という計算アルゴリズムで、サンプル数が多いほど精度が向上していくといいます。まずは割合の多い「生傷」「浮皮」などの識別を優先し、以降は、より多様な病害の種類の識別の精度を高めています。

井口義朗組合長は「速度、精度とも求めるものに近づいてきた。生産者の負担を減らし、消費者により良いミカンを安定供給できる形にしたい」と話しました。同

社技術統括本部の二宮和則副本部長は「最新技術ありきではなく、産地が求め

るよう、一緒に育てていきたい」と話しました。



AOI機構、慶應義塾大学SFC研究所、県農林技術研究所、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター・JA静岡経済連の代表者と

12/16-27

## 洋ランフェア コーナー設置し、長期間開催

三ヶ日洋ラン部会は特産物直売所で洋ランフェアを開きました。例年、大賑わいのイベントですが、今期は三密対策のため企画を変更。特設の売り場を縮小した替わりに、フェアの期間を長めに開催。町へのイベント告知も控えめになりました。生産者も週末に限定し、時間を区切って店頭に立ちました。

売り場には、主力品種の「シンビジュム」を中心に揃え、こまめに職員が商品を補充しました。シンビジュムは、発色と長い日持ちが魅力です。フェアはリピーターの方も多く、複数日に買い求めるお客さんも目立ちました。

洋ラン部会は「外出を控える中、家に飾った花で少しでも安いでもらえれば」と話しています。2月5日～7日もフェアの開催を予定しています。



特産物直売所に特設された洋ランフェアのコーナー

12/28

## おむすび作りと磁器絵付け体験 女性部「キッズカレッジ」

女性部ふれあい講座「キッズカレッジ」では6月にバケツ稻の苗を植え、9月に収穫と脱穀を行いました。そして、ついに自分たちで育てたお米をおむすびにして食べる日が来ました！玄米ご飯をラップで包み、おむすびを作つた子供たちは「うまくぎれた！」はやく食べたい！」と楽しそうに話しながらぎつっていました。4年生の中村心香さんは「白米よりも固めだけど、よくかんで食べるとしつかりお米の味



お米から育て、自分でにぎったおむすびはきっと忘れられない味！

この日は磁器絵付け体験も行いました。気に入った転写シートの絵柄を切り貼りし、オリジナルのごはん茶碗を完成させました。講師のはらゆみこ先生は「細かい部分も丁寧に貼ることができて、初めてとは思えないくらいみんな上手！」とほめていました。



自分でデザインを考えて作った世界に一つだけのごはん茶碗



### フレミーズ「みかんちゃん」が食農教育 平山小児童に焼き芋をお届け

12/22

フレミーズの自主活動グループ「みかんちゃん」が、平山小児童と一緒に育てたサツマイモで焼き芋を作りました。21日には児童がイモをきれいに洗い、22日には「みかんちゃん」がおいしい焼き芋にして差し入れに、児童らは大喜びしていました。



### 届きましたこんな声



#### 産地へ応援の声

70代  
女性

今回の放送は、大好きな三ヶ日みかんで、楽しみにしていましたよ。高血圧にも良くて、健康効果もあり、おいしくて、嬉しいです！ミカちゃんおはぎは、孫達も喜んで食べてくれそうで、いいですね。コロナに負けないように、毎日三ヶ日みかんを食べたいです。

50代  
男性

コロナの影響で、JAでの農産物販売にも工夫していると分かり、安心しました。  
栽培で実と葉の数量のバランスを管理しているところに感心しました。

#### 子育て世代や若い層から

40代  
男性

家族と一緒にこの番組を観ています。今回のミカン収穫の仕方は、親の私は知りませんでしたが、小学生の子供から「学校で見学に行った時に体験したから、知っていたよ」と言わされました。基本的な知識であって知らないこともありますし、生産者のやりがいや苦労話なども普段は聞けないので、これからも取り上げてほしいです。

30代  
女性

1歳の息子、3歳の娘もミカンが大好きです。早生は食べやすいので私も好きです。

1月～2月の管理

## 貯蔵の管理と樹の回復

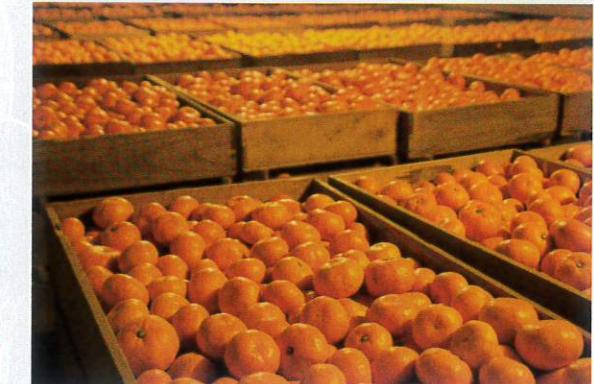
### 1. 貯蔵管理～庫内を最適に～

令和2年産の青島では、浮皮が多く発生している状況です。

貯蔵管理は、温湿度計や二酸化炭素濃度計を設置して、毎日貯蔵庫の状況を確認して管理するようにしましょう。

また、同じ倉庫内でも場所によって温湿度は大きく異なっていますので、定期的に貯蔵容器の上下を積み替えるようにして、急な気温変化には十分気を付けるようにしてください。

入庫量	温度	湿度
1坪当り(3.3m <sup>2</sup> ) 700～800kg	3～5°C	85%



#### 【気温が高い場合】

- ・体質が弱くなり、浮皮果が発生します。
- ・病原菌の活動が活発になるため、腐敗果の発生が多くなります。
- ・果実の呼吸量が増加してクエン酸が消耗されるため、味ボケしやすくなります。
- ◎換気を実施し、温度を下げてください。朝方の時間帯の換気が効果的です。

#### 【気温が低い場合】

- ・貯蔵庫内の温度が2°C以下になると、低温障害が発生しやすくなります。
- ◎果実にムシロや新聞紙をかけて、直接果実に冷気が当たらないようにしてください。

#### 【過温の場合】

- ・温度が90%以上になると予措戻りが起こり、浮皮や腐敗果の発生が多くなります。
- ◎窓を開けるなどして、換気を行ってください。

#### 【乾燥の場合】

- ・湿度が80%以下では果実の蒸散量が多くなり、しなび果が発生します。
- ◎貯蔵箱の上に新聞紙を敷いたり、貯蔵庫内に水打ちや水を入れたバケツを置いたりして湿度を適正に保ってください。
- ※特に露地箱内の温湿度に注意をしてください。

#### 【換気不足の注意】

- ・貯蔵庫内の入庫量が多い状況で換気が不足すると、二酸化炭素濃度が高くなり、ミカンが窒息状態となって貯蔵臭が発生します。
- ◎適切な入庫量を守り、適度な換気を行ってください。二酸化炭素濃度計を利用するのも効果的です。

### 2. 樹勢回復～樹も疲れています～

成り疲れや水分ストレスなどによって、樹勢が低下しています。

地温が低い冬期では根からの肥料吸収が弱まるため、樹勢回復には葉面散布が効果的です。収穫終了後から開花期までに3回～5回の散布をしてください。

散布時期	使用液肥	使用倍数	散布間隔
収穫後～	葉面液肥15-6-6	500倍	2週間～1ヶ月間隔

### 3. 防寒対策～落葉させない～

冬期は比較的降水量が少なく土壤が乾燥しています。そのため、乾燥と低温による被害で落葉が助長されます。また、旧葉は養分を溜め込む部分もあり、落葉すると樹勢低下などにつながり、花付きにも影響してきます。

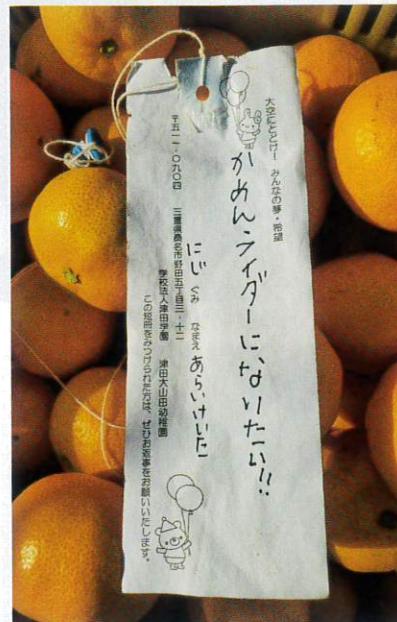
→灌水、株元への敷きワラなどで、土壤が乾燥するのを防ぎましょう。

→風あたりの強い所では寒冷紗の被覆や防風ネット、防風樹の設置と整備で低温を防ぎましょう。



## 風船のお返事、二日みかんで

農青連ファーマーズクラブでは、毎年クラブ員から提供されたミカンを町内の保育園・幼稚園へ配布する活動を行っています。今年、ミカン園で見つけた風船のお返事に、遠方の幼稚園にミカンを贈ることにしたエピソードをご紹介します。



青い風船に、短冊が添えられていた

昨年11月17日、本坂の竹平慶伸さんがミカン畑で収穫作業をしていると、短冊がついた風船を発見。これは、遠く三重県桑名市の幼稚園から飛んできた風船でした。

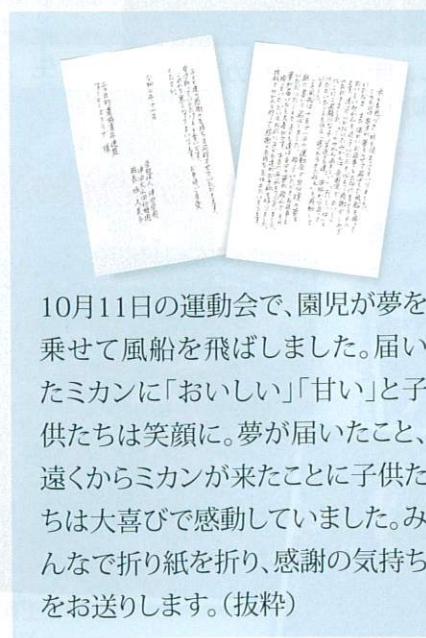
農青連ファーマーズクラブでは、毎年クラブ員から提供されたミカンを町内の保育園・幼稚園へ配布する活動を行っています。そこでのこの風船の送り元である三重県の津田大山田幼稚園へもミカンを贈ることになりました。後日、風船を飛ばした、あらいけいた君と幼稚園から手紙が届きました。そこには10月の運動会で園児たちが夢を短冊に書いて風船を飛ばしたこと、贈ったミカンが甘くておいしかったことが記されていました。ひとつめの風船が偶然の繋がりを作ってくれました。

### 活動告知

#### 2月5日(金) やら米収穫祭

とき：令和3年2月5日(金)  
ところ：尾奈小学校

「みんなでやら米」でお餅をついたり、尾奈小児童と一緒に遊びます



委員長  
藤原 晋也

# 小学生が笑顔でミカン収穫

西小の3年生は、毎年「総合的な学習」の時間に三ヶ日町の重要な基幹作物であるミカンについて学んでいます。12月には学習の仕上げとして早生ミカン、青島ミカンを自分たちの手で収穫しました。

## 学習の成果を発揮

12月3日、三ヶ日西小学校の3年生が「総合的な学習」の授業時間に育てた早生ミカンを収穫しました。コロナ禍による休校期間などがあり、限られた時間の中での学習でしたが、農協の柑橘課の職員を招いてミカン栽培について学びを深め、無事に収穫の日を迎えるました。

収穫前にはミカンを傷めないための大切なポイント「二度切り」のやり方をしっかり復習していました。

「1本の木からこんなにたくさんのが取れるんだ！」と、実際に体験したからこそ分かる発見もあったようです。

12月10日には青島ミカンの収穫も行いました。このミカンの一部は子供たちの発案により、福祉センターに通うお年寄りと宿泊訓練を頑張った西小の5年生へプレゼントしたそうです。



二度切りを実践！



どのミカンから切ろうかな？

手馴れた手つきでどんどん収穫する子、どのミカンがおいしそうか真剣に悩む子、数個取つただけでも「ミカンって、けつこう重い」と驚く子、収穫に夢中になりビニール袋が破れてしまう子などもいましたが、みんな楽しそうに収穫していました。

クラスメイトが収穫したミカンを見て、



高いところは先生がサポートし、低いところのミカンは木の下にもぐりこんでしっかり切れます



豊作に、みんな笑顔

『おいしいミカンができました！』



## 12/25 みかんちゃんクリスマスディナー作り

フレミズ1・2

期生による自主活動グループ「みかんちゃん」がクリスマスディナーを作りました。「鶏の

ルーツやクッキーなどのお菓子をトッピングして、オリジナルケーキを作りました。

子供たちは「おいしくできた！」「クリスマスパーティーをして、家族と一緒にケーキを食べます」と嬉しそうに話してくれました。



縁起よく右肩上がりに植えるのがコツ

## 12/29 グリーンクラブがお正月の寄せ植え

グリーンクラブでは「花のあがた」の縣慶一さん夫妻を講師に、2つの部屋に分かれてお正月の寄せ植えを作りました。ミニディエ系の胡蝶蘭や黒松、水仙、お多福南天など日持ちがしておめでたい植物が入った寄せ植えは、新年の玄関を華やかに彩ってくれそうです。



手作りクリスマスケーキにみんな笑顔



手作りクリスマスケーキにみんな笑顔



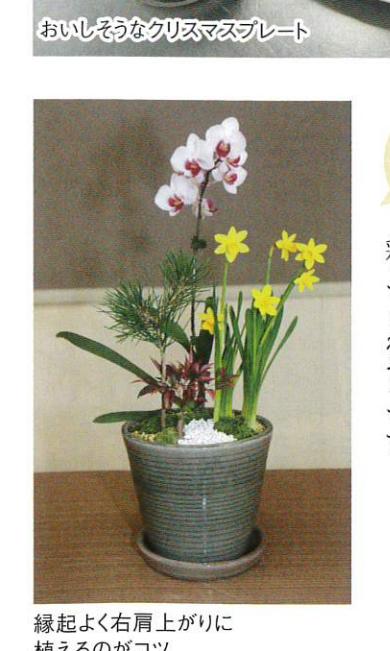
## 12/21 料理教室でおもてなし料理

料理教室では遠州病院の管理栄養士

中根ひろみ先生を講師に迎え、年末年始のおもてなし料理を作りました。「鶏モモ肉のロースト・温野菜添え」「ガーリックシュリンプ」「サツマイモのポタージュ」「カボチャのサラダ」など冬の食卓を豪華にしてくれる6品で、体の芯から温まるおいしい料理ができました。



ボリューム満点で体に優しいメニュー



縁起よく右肩上がりに植えるのがコツ

**おいしいをつくりましょ。**

クッキング Let's try Cooking!

第43回農協祭女性部展 手づくりコンクール  
(スイーツ部門 優秀賞)



大谷南  
山口朝江

**黒豆de  
おせちモンブラン**

おせちの残りの黒豆をアレンジして、和菓子のようなモンブランができました。

**材料 8個分**

黒豆煮	100g	砂糖	5g
生クリーム	50cc	栗の甘露煮	8粒

**【タルト】**

小麦粉	80g	【クリーム】	
アーモンドブードル	20g	アーモンドブードル	50g
バター(無塩)	50g	バター	50g
粉糖	30g	粉糖	40g
卵	50g	卵	50g
バニラピーンズ	1/6本	抹茶	3g
卵	1/3個		

**(作り方)**

- タルト生地はバターをねり、粉糖、バニラピーンズ、卵を順にねりこみます。次に小麦粉、アーモンドブードルを加え、切るように混ぜて冷蔵庫へ入れます。
- クリームはバターをねり、粉糖、卵、アーモンドブードル、抹茶を順に加えてよく混ぜて冷蔵庫へ入れます。
- 黒豆を裏ごしして泡立てた生クリームと混ぜ、黒豆クリームを作ります。
- 型にタルト生地をしき、クリームを絞り、黒豆を埋め込み、170~180°Cに予熱したオーブンで20分ほど焼きます。
- 栗を黒豆クリームで包み、土台としてタルト台にのせ、モンブラン用の絞りで黒豆クリームを絞り、黒豆をトッピングします。



### 自分たちで育てたお米でおむすび作り

女性部ふれあい講座の「キッズカレッジ」参加者21人が料理教室でおむすび作りをしました。自分たちで苗植えをし、脱穀まで手掛けたお米でぎったおむすびです。お米をしっかり味わえるように塩むすびにし、好みで海苔を巻いて完成! 自分たちで手塙にかけて育てたお米で作ったおむすびの味は、格別でした。




### 俳句

### 短歌

ぴっかぴか 光センサー 潜り来る  
列を正しく 青島みかん  
【大福寺】 尾藤ふみ代

【大谷北】 山本裕子

つき大根

風に揺れる 簾干し

**職員通信**

**M**

L Aとして組合員さん宅を訪問し、共済の相談を受けたり、備えのプランを提案したりしていきます。仕事にはスピード感をもって取り組むことを心掛けています。レスポンスを早くすることでお客様と信頼関係を築き、「まずは外山に相談しよう」と真っ先に思い浮かべています。

LAとして組合員さん宅を訪問し、共済の相談を受けたり、備えのプランを提案したりしていきます。仕事にはスピード感をもって取り組むことを心掛けています。レスポンスを早くすることでお客様と信頼関係を築き、「まずは外山に相談しよう」と真っ先に思い浮かべています。

**外山 福嗣(31)  
共済課  
入職1年目**



**ゲットスマイル**

大崎南  
磯貝さん家の  
弦くん(5)

庭にあるじいじお手製  
ブランコは、弦くんの  
お気に入りスポット!

お父さん:翔さん  
お母さん:彩乃さん

ンジャモンジャなどのカードゲームをしたことが楽しかったと教えてくれました。

弦くんはいっぱい遊んでくれるじいじが大好きな、じいじっ子! 足に乗せて“飛行機”をしてくれたり、ミカン切りの時はいろんな乗り物に乗せてくれたりするので、ずっとじいじの後についてまわるほど。ばあばは保育園に送ってくれて、いろいろお世話をしてくれるそう。お母さんの彩乃さんは今元気に育ってほしいと願っています。

### 三ヶ日町の情報を 発信するYouTuber



寺田さんは子供のためのハロウィンイベント開催など、三ヶ日町の活性化にも貢献している



ぼくの詩  
わたしの詩

十月から始まった  
ヒラメの世話をよく見てると  
ヒラヒラスイサイ  
ヒラヒラスイサイ  
えさをやると  
いつものヒラメとちがう  
えさに向かって  
超特急でやつてくる  
大きく育つてね  
わたし、お世話を  
がんばるよ  
ヒラメのジョニー、  
マイケル・バーナ、パピコ  
また明日



## 三ヶ日町 農協 肥育牛部会

# 丑年さらなる躍進を

「子」から「丑」へバトンタッチ。今年の干支は牛です。牛の肥育は生き物を扱う仕事です。子牛を引き取り、過<sup>か</sup>しやすい環境を整え、食べ物を与えてていきます。そして、最後は出荷を迎えます。11月、12月、肉牛の共進会で三ヶ日勢が立て続けに最優秀賞や入賞を果たしました。三ヶ日町農協の肥育牛部会会長の鈴木勇也



牛舎に設置された巨大な飼料タンク。多い時は一日1頭で10kgを食べるそ



鈴木さんの肉牛は近畿東海北陸連合肉牛共進会で最優秀賞を受賞



月齢24~30ヶ月で出荷される。

さんは「三ヶ日町は県内でも肥育技術が高い。それが近年の成果に繋がっている。令和3年はさらなる躍進に繋がってほしい」と話します。令和3年の肉牛の初出荷は1月4日。コロナ禍で不透明な世の中ですが、地元のお肉が誰かの特別な食事のひと時になつているはずです。



撮影場所／令和2年12月25日(金)三ヶ日町の各牛舎で 他